

2021 年 11 月 18 日
DEIM2022 産学連携委員
高橋翼 清田陽司

DEIM2022 スポンサー募集

DEIM2022 のスポンサー企業・団体の募集をご案内致します。本大会の成功と学術の振興のため、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM) は、データ工学と情報マネジメントに関する様々な研究テーマの討論・意見交換を目的としたワークショップです。例年は合宿形式で行っていましたが、一昨年度から新型コロナウイルスによる感染拡大の可能性を考慮し、完全オンライン形式で開催してありました。前回大会である DEIM2021 では、参加者数が 1,000 名を超え、幅広い分野のコンピュータ科学研究者が一堂に会する主要イベントへと成長しています。

DEIM2022 では、新たな試みとして現地とオンラインのハイブリッド形式での開催を目指しています。また、従来 3 日間での開催でしたが、日程を 1 日増やした 4 日間での開催を検討しています。ハイブリッド形式であっても深い議論ができるよう、各発表時間を十分に確保するようにいたします。大学・企業の若手教員・研究者・技術者および学生からの発表の他に、一般からの発表も広く受け付けます。産学連携の発表も歓迎しています。DEIM2022 の開催概要は以下の通りです。

<DEIM2022 開催概要>

- Web ページ：<https://event.dbsj.org/deim2022/>
- 学会会期：2022 年 2 月 27 日～3 月 2 日
- 学会会場：ウインクあいち（愛知県名古屋市）＋オンライン

DEIM2022 の協賛プランは、「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」の 3 つのプランを用意しております。また、日本データベース学会の活動を常日頃からご支援いただいている DBSJ 維持会員には、協賛金の割引を致します。特典の内容については、下記をご覧ください。本大会の成功と学術の振興のため、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、お申し込み多数の場合には、一部の特典をご提供できない可能性がございます（先着順とさせていただきます）。上限数はプログラム編成や会場の制約、COVID-19 等感染症の情勢や必要な対策等に応じて変動する可能性がございます。あらかじめご了承ください。お早めのお申し込みをお願い申し上げます。特典の詳細は、お申し込み後に改めてご案内いたします。

ご検討くださいますようお願い申し上げます。

1. 協賛プラン

	協賛特典※1	プラチナ 40万円(税込)※2	ゴールド 20万円(税込)※2	シルバー 5万円(税込)※2
1	ロゴ掲載 (Web ページ・バーチャル背景)	大	中	小
2	ライトニングトークへの登壇	○	○	○
3	ブースの設置 (現地・バーチャル会場) ※3	○	○	
4	技術報告への登壇※4	最大 2 枠	1 枠	---
5	スポンサー賞の授与※4	○	---	---
6	オンラインセミナーの開催権※4	○	---	---

※1 協賛担当者様(1名)と技術報告の登壇者様には、DEIM への参加権限を付与致します。

※2 DBSJ 維持会員には、協賛金の割引(20%)をご提供致します。是非この機会にご入会をご検討ください。(DBSJ 維持会員について <https://dbsj.org/overview/sponsor/>)

※3 会場都合により特典の上限数に達した場合は先着順とさせていただきます。

※4 プログラム編成の都合により特典の上限数に達した場合は先着順とさせていただきます。

1.1. 募集要項

ご協賛頂く企業・団体様は、DBSJ/DEIM で対象とするデータ工学および情報マネジメントに関わる技術をサービスや製品の開発にご活用されている、もしくはこれら分野の研究に取り組まれていることを原則と致します。

1.2. 協賛プランのポイント

DEIM コミュニティの産学連携強化を目指し、より幅広い企業の方々にご参画いただくため、協賛プランを改善しました。

多くの露出機会

シルバープラン以上で「スポンサーロゴの掲載」、ゴールドプラン以上で「技術報告への登壇」「常設ブースの設置(オンライン&オフライン)」、プラチナプランで「スポンサー賞の授与」「オンラインセミナーの開催権」をご利用可能となります。プラチナプランでは「技術報告への登壇」を最大 2 枠までご利用可能です。参加者への露出機会の増加に是非ご活用ください。

テクノロジーショーケースとしての技術報告

技術報告は、各社の先駆的な取り組みの紹介や技術力のアピールなど、各社のテクノロジーショーケースとしてご好評頂いております。プラチナプランでは「技術報告への登壇」を最大 2 回まで可能です。

スポンサー賞授与を通じた学生による優れた研究活動の奨励

姉妹フォーラムの WebDB Forum でご好評頂いていた企業賞を DEIM で初めて導入します。協賛企業・団体様のそれぞれの視点で選考していただく企業賞は、学生の研究活動に大きな励みとなることが期待されます。是非、協賛企業・団体様それぞれのオリジナリティあふれる副賞とともに、学生による優れた研究活動をご奨励ください。企業賞はプラチナプラン以上でご利用可能です。

学会現地会場・バーチャル会場へのブースの設置・導線への配慮

ハイブリッド開催を目指す DEIM2022 では、従来の現地開催と同様に、学会の会場にブースを設置することが可能です。加えて、昨今の COVID-19 の感染状況を鑑みますと、オンライン参加者とも現地開催と同等のコミュニケーションの場が必要と考え、バーチャル会場を設置します。バーチャル会場には、スポンサー各社のバーチャルブースを設置いたします。ベストエフォートとなりますが、バーチャル会場でも現地会場と遜色のない賑わいを創出すべく導線作りに尽力していきたいと考えています。ブース設置はゴールドプラン以上でご利用可能です。

スポンサー企業・団体間でのノウハウやプラクティスの共有

産学連携の強化のため、バーチャルブースやスポンサー賞など新しい試みに挑戦しております。ハイブリッド形式、オンライン形式の学会参加、協賛に不慣れなスポンサー様や、新たに DEIM への協賛をご検討くださっているスポンサー様にも協賛特典を有効活用して頂くべく、スポンサー間でノウハウやプラクティスを共有する場を設けることを検討しています。スポンサー間のつながりやコミュニティ作りの一助となれば幸いです。

2. 特典について

2.1. ロゴ掲載

DEIM2022 の Web ページと、オンラインミーティング用のバーチャル背景画像にロゴを掲載します。

DEIM2022 の Web ページには、ご希望のリンク先へのリンクを張ったロゴを掲載します。ロゴの大きさは協賛プランによって異なります。同じ協賛プラン内では、ランダムな順番で表示します。

(ご参考) 前回大会のロゴ掲載：<https://db-event.jpn.org/deim2021/>

バーチャル背景画像は、実行委員等がオンラインミーティング時にバーチャル背景として利用します。バーチャル背景へのロゴ掲載順は、同じ協賛プランの種別毎にお申し込み順とします。

(ご参考) VLDB2020 で配布した背景画像：<https://vldb2020.org/material.html>

ロゴのご提出方法については、お申し込み後にご連絡させていただきます。

2.2. ライトニングトークへの登壇

スポンサー独自のご発表をして頂くライトニングトークの枠を提供します。発表時間はスポンサー毎に 2~3 分程度を想定しております。スポンサーの数によって増減する可能性があることをご承知おきください。

また、ハイブリッド開催においては、学会現地参加とオンライン参加のスポンサーが混在することが想定され、タイムマネジメントの点で課題がございます。そのため、事前録画とさせて頂く、発表順を参加方法毎に指定させて頂く、などのお願いをする可能性がありますことをご承知おきください。

開催時間帯については、今後検討の上、決定させていただきます。

2.3. ブースの設置（オンライン会場・学会現地会場）

DEIM2022 のオンライン会場ならびに現地会場に、ブースを設置致します。本特典は「プラチナ」「ゴールド」プランのみに提供します。

ブースのサイズは、「プラチナ」プランのスポンサーに「ゴールド」プランのスポンサーよりも大きなスペースを提供したいと考えております。ただし、スポンサー数、会場や感染症対策の制約によって、同じサイズとなってしまう可能性もございますことをご承知おきください。

可能な限り多くのスポンサーにブースを設置頂けるよう検討して参ります。ただし、ブース設置のお申し込み多数の場合は、上位スポンサー優先および先着順とし、上限に達した場合にはお申し込みを打ち切る場合がございます。

なお、COVID-19 等感染症の状況に応じて、完全オンライン開催へと変更となった場合には、オンライン会場でのバーチャルブースの設置のみとなります。このとき、バーチャルブースの導線への配慮ならびに盛り上げ施策を追加で検討致します。

オンライン会場に設置するバーチャルブース、現地会場に設置する物理ブースのサイズ・設営方法については、後日ご連絡致します。

2.4. 技術報告への登壇

DEIM2022 のセッション内でスポンサー各社の先駆的な取り組みの紹介や技術力のアピール等を実施頂ける技術報告への登壇の権利を「プラチナ」「ゴールド」プランに提供します。プラチナプランでは最大2回までご登壇可能です。

技術報告でご発表頂く内容は、各社独自の技術的なコンテンツに限ります。学術会議である DEIM2022 のセッション内でご発表頂くという観点からのご配慮願います。

発表時間は、DEIM2022 の論文発表に準じます。ご発表の題目とご発表者のお名前を、論文発表と同様にプログラムに掲載します。ご発表のセッションは、ご希望をお伺いした上で検討しますが、ご希望に添えない場合もございますことをご承知おきください。

また、技術報告にご登壇頂く方には、DEIM2022 への参加権を付与いたします。技術報告でのご発表だけでなく、セッションへの参加を通して、DEIM2022 を盛り上げて頂ければ幸いです。

2.5. スポンサー賞の授与

スポンサー独自のご見識に基づいて、学生の研究活動を奨励して頂くことを目的とした、スポンサー賞の授与権を提供します。本特典は「プラチナ」プランにのみ提供します。

スポンサー賞の選定対象は、DEIM2022 で発表された学生を筆頭著者とする研究発表です。スポンサー毎に、授与の候補となる発表をいくつか選定して頂きます。最終的な授与対象は、多くの学生の発表を奨励する観点から、産学連携委員とスポンサー賞の授与を希望するスポンサーとを含むメンバーで協議の上で決定致します。選定の方法や協議の方法については DEIM2022 開催までにご連絡致します。

また、副賞の授与をして頂くことも可能です。副賞は各社・各組織でご用意ください。

2.6. オンラインセミナーの開催権

スポンサー独自のイベントを開催する権利を付与します。本特典は「プラチナ」プランにのみ提供します。

オンラインセミナーでは、スポンサー独自のイベントや講演を開催して頂くことができます。技術報告とは異なり、技術的なコンテンツに限定を致しません。

(ご参考) 前回大会のスポンサーイベント

https://db-event.jpn.org/deim2021/post/sponsor_event.html

開催する時間帯は、DEIM2022 のセッションの時間外を検討しております（ランチョンセミナー、イブニングセミナー、ナイトセミナー等の形式を想定しています）。詳細な開催の時間帯や開催方式については、COVID-19 等感染症の状況を鑑みて、後日ご連絡させていただきます。

3. お申し込み方法

お申し込みは、別紙「DEIM2022 ご協賛お申し込みフォーム」にご記入の上、下記連絡先までメールでお申し込みください。

連絡先：< deim2022-kyousan@googlegroups.com >

協賛金のお支払い方法については、後日、ご担当者様にご連絡致します。

4. 問合せ先

ご不明点やご質問などございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

連絡先：< deim2022-kyousan@googlegroups.com >

なお、DEIM2022 のスポンサー様を含む、企業間の交流（ノウハウやプラクティスの共有）を目的とした Slack を試験的に開設致しました。お申し込み頂いた企業・団体のご担当者様または関係者様をご招待させていただきます。